

# 平成28年度北陸新幹線飯山駅・飯山市内観光施設を利用する

## 受注型及び募集型団体旅行助成制度実施要項

委託者

飯山市

事務局

(一社) 信州いいやま観光局 (営業企画課)

### 1 目的

北陸新幹線長野～金沢間が開業し新たな旅行需要が喚起されていますが、そのためには北陸新幹線飯山駅を大いに活用することが重要です。

そこで、北陸新幹線飯山駅を利用する団体旅行を対象に、主に平成28年度中に出発する関西・北陸からの旅行商品を造成する旅行会社に対し、実際に催行した人数・旅行内容に応じて助成する制度を用意しました。

この助成金制度は、関西・北陸方面から北陸新幹線を利用して飯山駅で乗降する旅行を積極的に誘致し、受注型及び募集型団体旅行の増加をさせることで、地域経済の活性化に寄与することを目的とします。併せて、信州いいやま観光局を委託先・事務局として精算・手配窓口とすることで、飯山市への誘客・営業をさらに促進することも目的とします。

### 2 助成対象者

旅行業法(昭和27年法律第239号)第3条の規定に基づく登録を受けている旅行会社であること。

### 3 助成の要件

次の各号に掲げる要件を全て満たす団体旅行であることが必要です。

- (1) 15名以上の団体旅行であること。
- (2) 関西・北陸を出発地として北陸新幹線を利用した飯山駅での乗降を伴う平成28年度中に実施されるツアーであること。乗車または降車いずれかの片道利用でも可とする。
- (3) 日帰り・宿泊いずれのツアーであっても飯山市内の有料観光施設、有料の案内人・ガイド利用などを2か所以上を利用する内容であること(有料観光施設は食事施設も含む。1か所は弁当の購入やショッピングでの立ち寄りも可とする)。
- (4) さらに宿泊を伴うツアーで飯山市内の宿泊施設を1泊以上利用した場合は助成金額を追加する。なお、宿泊施設は有料観光施設には含まない。
- (5) 申請するツアーの飯山市内の観光施設の利用・宿泊手配に際し、最初に手配書を必ず事務局(信州いいやま観光局)へ伝達する。

- ① 事務局への伝達なしに観光施設へ手配をした場合については、申請があっても適用されない場合がある。
- ② 飯山市内の施設とクーポン契約をしている場合でも、最初の手配は事務局へも伝達をすること。
- ③ 各観光施設との精算は、クーポン精算を除き、基本は事務局を窓口とする（手配書を観光施設に送る際に、精算窓口を事務局とする旨を必ず伝達してください）。

#### 4 助成額

- (1) 助成額は、次の①に掲げる額の合計額とし、催行実績に応じて助成します。

団体旅行が催行されなかった場合または申請内容と明らかに相違していることが確認された場合は助成金の交付はできません。

- ① 送客実績助成

各ツアーの送客実績に応じて、次の金額を助成します。

交付決定し、北陸新幹線飯山駅を利用した場合

・送客実績	×	片道利用	一人につき	1,000円
		往復利用	一人につき	2,000円

飯山市内宿泊施設1泊以上の場合 上記に加え 一人につき 1,000円

- (2) 助成金の交付決定の際に、助成金の上限額を通知します。
- (3) 交付上限の催行人数・金額を超えても、上限額までしか支給できません。

#### 5 事務取扱手順

- (1) 申請の方法

- ①申請者は、助成申請書（様式第1号）及び添付書類を事務局に提出してください。

【添付書類】助成申請しようとする団体旅行の行程表（任意様式）

同じ内容の募集型団体旅行で複数の日程を設定した場合は、申請書1に添付の別紙旅行商品概要に設定日時を全て記入して報告してください。

- ②上記申請書類はFAXまたはE-mailにより、下記事務局あて提出願います。

【FAX】 0269-81-2156

【E-mail】 info@iiyama-ouendan.net

メールの場合は【北陸新幹線助成金申請】と件名に入れてください。

- (2) 申請受付期間

平成28年 7月1日（金）～平成29年 2月28日（火）到着分まで

（ただし助成金原資がなくなり次第受付を終了します。）

- (3) 助成金の交付決定

申請者からの助成申請書到着後、事務局が団体旅行の内容等を審査し、概ね10日以内に交付の可否をFAXで通知します。交付の可否は、助成申請書の事務局記載欄に記載します。

また、交付上限額も通知します。

助成額は、団体旅行の催行実績によります。申請書発送後11日を超えてもFAXによる回答がない場合は、恐れ入りますが事務局までご連絡ください。

各団体旅行への助成金額は、交付決定の際に記載する交付上限額を上限に支払うものとします（団体旅行の催行実績が交付上限額を算出する際の予定催行人員を上回っても、交付上限額を超えて助成金を請求することはできません）。

(4) 手配書の送付（各社任意のもの）

今回の助成は事務局（一般社団法人信州いいやま観光局）を經由して手配・精算することを条件にしています（クーポン精算を除く）。飯山市内の各観光施設への手配書についても必ず事務局へ伝達してください。

ツアー当日までの人数変更は直接観光施設へ行ってください。事務局では人員変更手続きは行いません。

(5) パンフレット等への記載事項

募集型企画商品にあつては募集に際してのパンフレット、ホームページ、最終行程表等に、受注企画型商品にあつては企画書面、最終行程表等に、「北陸新幹線飯山駅利用助成プラン」と明示願います。

(6) ツアー終了後の助成金額の確定及び精算

事務局が送客実績の内容を各有料観光施設に確認し、実績報告として請求書案を作成します。クーポンで観光施設と直接精算をされた場合は、金額は請求書には反映しませんが、確認して人数および助成金額を入れてFAXで報告します。請求書案は観光施設利用の料金に対して助成金額を差し引いて計上します。

内容をご確認いただき、修正がなければ差額がプラスの場合は原本を郵送しますので入金期日までに速やかにお振り込みください。

有料観光施設2施設の利用金額を助成金が上回る場合やクーポンによる有料観光施設への直接支払がある場合は、請求書案がマイナス計上となります。

その場合は事務局（信州いいやま観光局 営業企画課）宛てに請求書案をもとに助成事業者の様式にて請求書を作成の上、郵送してください。

請求書は月末締めで精算を行います。支払予定日は翌月の25日（土日の場合は翌月曜日）となります。

(7) 助成金の請求期限

助成金の請求期限は平成29年3月10日（金）までとします。

問い合わせ先

（事務局）

一般社団法人信州いいやま観光局 営業企画課 担当 清水・藤田

（電話）0269-62-3133（営業時間8:30～17:15 土日・祝日休）

（E-mail）info@iiyama-ouendan.net

## ※助成金を交付する例

例 ①	<p>北陸新幹線 有料見学 食事</p> <p>〇〇駅——飯山駅==高橋まゆみ人形館・・月あかり===</p> <p>北陸新幹線</p> <p>==次の観光地など===長野駅——〇〇駅</p>	<p>助成金</p> <p>片道利用</p> <p>1,000円</p> <p>×催行人数</p>
例 ②	<p>北陸新幹線</p> <p>〇〇駅——上越妙高駅==周辺の観光地 ===</p> <p>果物狩り 飯山市 北陸新幹線</p> <p>==塩崎農園==手すき和紙体験工房==飯山駅——〇〇駅</p>	<p>助成金</p> <p>片道利用</p> <p>1,000円</p> <p>×催行人数</p>
例 ③	<p>〇〇駅——上田駅==真田丸ドラマ館==軽井沢=草津温泉(泊)</p> <p>郷土料理 ショッピング</p> <p>草津温泉==志賀高原他==飯山市内(昼食)==道の駅花の駅千曲川</p> <p>有料見学 北陸新幹線</p> <p>=高橋まゆみ人形館==飯山駅——〇〇駅</p>	<p>助成金</p> <p>片道利用</p> <p>1,000円</p> <p>×催行人数</p>
例 ④	<p>北陸新幹線 ガイド付き半日(有料)</p> <p>〇〇駅——飯山駅==斑尾高原 トレッキング===</p> <p>有料見学</p> <p>=高橋まゆみ人形館==飯山市内スイーツ巡り===</p> <p>北陸新幹線</p> <p>==飯山駅——〇〇駅</p>	<p>助成金</p> <p>往復利用</p> <p>2,000円</p> <p>×催行人数</p>
例 ⑤	<p>北陸新幹線 有料 市内宿泊</p> <p>〇〇駅——飯山駅==戸狩自然体験プログラム==戸狩民宿(泊)</p> <p>有料 北陸新幹線</p> <p>戸狩==自然体験プログラム==飯山駅——〇〇駅</p>	<p>助成金</p> <p>往復利用</p> <p>2,000円</p> <p>×催行人数</p> <p>宿泊助成</p> <p>1,000円</p> <p>×催行人数</p>

ツアー内容についてお困りの場合は事務局（信州いいやま観光局 営業企画課）までご相談ください。